



今回の東北地方太平洋沖地震にて被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。  
ライフラインが寸断された状況で不安な時間を過ごす被災者の方々を思うと、一日も早い復興を祈らずにはいられません。  
先ずは皆様方のご無事をお祈りするとともに被害が最小限に収まることを願っております。

私の実家は洪水で罹災したことがあります・・・

数年前、舞鶴の実家に台風23号が残していったのは、由良川の氾濫で崩れ落ちた壁と、家の中にも外にも庭にも道路にも、トイレにもお風呂にもシンクの中にも、箆筒の引き出しの中にまで入り込んだ泥の世界。

においも風も送られてこないTV画面を暖かい部屋で見ているのと、現地で実際に状況を目の当たりにするのでは大きな違いがありました。

TVの四角く区切られた画面から目を転じれば、日常の世界がありますが、現地ではどこに目をやっても、庭も木も草も花も泥に覆われた色のない灰色の世界でした。

水も出ない、電気も来ない。玄関から道路まで物を運び出すための道を作るだけで半日。

泥水を含んで大の男3人でも運べない畳や布団。

掻いても掻いても流れ込んでくる泥と戦いながら、いつ果てるとも知れない傷跡に顔を見合わせるお互いは、胸の上まで泥だらけ。

自分でもわかるくらい動きがスローになり、ため息しか出なくなった頃、

『手伝いにきたで、大変やなあ』

『食べるものあるの？ 豚汁とおにぎり持ってきたけど』

『どこから始めよ』 捻ったタオルをきりりと巻いた威勢のいい笑顔で駆けつけてくれたのは従兄弟たちでした。その元気な笑顔にどれだけ癒されたことでしょう・・・

台風当日、実家の両親は電気のつかない暗闇の中で、泥水に浸かった体を洗うこともできず、避難した2階まで階段をあと1段残すだけで、それでも弱まらない風と雨の中で一晚をすごしました。

懐中電灯に照らし出される2階の窓のそばを、渦巻き流れていく泥の川。

そして翌日は恐怖の一晚を心に抱えたまま、1本のろうそくの明かりの下で、配られた冷たいお弁当とペットボトルの冷えたお茶ですごしたふたり。

自分が悪いわけではないのに・・・情けない思い。そして不安と困惑と虚脱感。

『悲しみ』や『怒り』は、『絶望』よりずっと生きることに近い感情だと感じました。

発泡スチロールの丼につがれた豚汁から立ち上る湯気と共に溢れ出す香り。

両の手で抱えて思わずこぼれた笑顔。ようやくこぼれた両親のその笑顔に、

ぬくもりのある香りと威勢のいい笑顔が、『生きることを支えてくれる』と感じました。

今回の震災では、『情けなさ』と不安と困惑と虚脱感にくわえて、何度も襲ってくる余震への『恐怖感』も想像もできないほどものだったと思います。

『何かしたいけれど、なにもできない・・・』思いの中で、次のような新聞記事を見つけました。

「環境市民では、NPO 法人阪神淡路大震災  
1.17 希望の灯り(略称 HANDS)が行う『TASUKI  
PROJECT』(タスキプロジェクト)に賛同し、  
東北地方太平洋沖地震の支援のため、洋服や  
用雑貨などをみなさんから募集いたします」

「東北・関東大震災で被災された方々へ、手から手へ、必要なものをお届けす  
る。

こんな時こそ、日本がひとつにならなくては！そんな思いを「タスキ」にたく  
し『TASUKI PROJECT』はスタートしました！

プレゼント(洋服や雑貨)をわたす相手は、東北地方に住んでいる、自分とお  
んなじサイズ(身長・服のサイズ)のおともだちと思ってつくっていただき  
い。

自分の持っているステキな服(ズボン・シャツ・上着・防寒着など)と、新品  
の下着とくつ下などをバック・リュック・雨にぬれても破れない袋などに入れ  
る。

お手紙・メッセージは必ず入れてください！」

支援物資や募金など支援の方法は様々ありますが、まるで福袋のようなこの支援物資にあたたかいも  
のを感じました。

物資も相手の顔が見えるのと、見えないのとではまったく違うような気がします。

温かい豚汁に心が救われたように、心のこもったモノから伝わってくるチカラは大きいと思います。

お友達を誘っていくつかのプレゼント袋を作りました。

中学生の女の子宛にはデオドラントスプレーが入っていたり、

小学生の男の子にはベイブレードが入っていたり、

無事であることを知らせることが出来るように手紙セットに切手とペンも添えました。

小さなクマちゃんのストラップもきっと気持ちを癒してくれることと思います。

中にはグローブを入れてくれたお友達もいました。

もちろん今はそんなことをする状況でも気持ちでもないと思います。

水や缶詰やトイレトペーパーのように生きる為に必要なモノではないかもしれませんが。

でも・・・

きっとそれを手にした男の子の心には、ぽっと温かいものが灯ったことと思います。

自己満足でしかないかもしれませんが、そんな支援の方法もあることをお伝えしたくて、今回はEく  
らぶに書かせていただきました。

私たちの住む栗東市も そういう心の届く支援の方法を考えてくれたらいいのになあ・・・という思い  
もこめて・・・

『TASUKI PROJECT』は私たちの福袋を岩手まで運んでくださいました。でも たくさんの福袋が集  
まりすぎて、今は募集を控えておられます。

生活物資の支援～ぬくもりの支援～人手の支援・・・被災地に必要なモノは日を経つにつれ変わって  
いくと思います。

ささやかでも 何かできると感じたときに行動に移したいと思っています。

(株)ベストハウスでもワンルームですが、空室を10室無償で提供させていただいています。

彦根ですが、罹災されたお知り合いの方で必要な方がおられましたら、ご連絡ください。

## 緊急企画！ 無料で・・・

- ①築年数関係なく木造住宅・耐震診断
- ②設置義務になった火災報知機取付け  
させていただきます！！

### ★無料 木造住宅耐震診断とは！

国の指導のもと、滋賀県が行っている「耐震診断」  
県が無料で行っているこの制度は「昭和56年5月31日以前」に建てられた木造住宅に限られてい  
ます。 ても・・・

- 昭和56年以降の家だけど、実際に自分たちの住まいはどうなんだろう？
- 築何数がよくわからないし・・・
- どうやって、申し込んだらいいのかわからない・・・

こんな悩みを持っている皆さんへ！

私たちが持っている知識を生かして、一度耐震診断してみませんか？  
滋賀県耐震診断の資格とノウハウを持ったスタッフがお伺いして、  
1週間ほどで結果をお伝えします！

### ★火災報知機設置義務が始まります！

★消防法により、すべてのお住まいに火災報知機の設置が  
義務付けされます。

★その期限は5月末まで。

ても・・・

- 自分でするのは、邪魔くさいなあ
- どの場所に付けたらいいの？
- 買って来たけど、どうやって付けるのかわからない・・・

こんなお悩みがある皆さんに、わたしたちが無料で取り付  
けにお伺いします！！

自分たちで購入した火災報知機でも OK！

もちろん、こちらで用意することも可能です（実費あり）

★耐震診断も火災報知機もこの機会に、  
是非ご利用ください！！

お申し込みは、ベストハウスまでお電話くださいませ



# 私たちは今、こんな仕事をしています。

最近、リフォーム工事の内容で、**自然エネルギー**を利用する案件が多くなってきました。

それも、**太陽光発電**などではなくもっと**スローな方法**です。

昔からある**技術**が今また**脚光**を浴びるようになってきたようです。

私たちの会社では、新築でもリフォームでも《自然エネルギーの活用》をいつもお話させてもらっています。

太陽光発電が今一番、注目を集めているのですが、それ以外にも・・・

■太陽熱温水器 ■薪ストーブ などが今は人気となってきました。

**太陽熱温水器**は、昔 ア〇ヒソーラーさんが強引な訪問販売で問題になり、一気に市場がなくなり、作っていたメーカーも撤退してしまったり。

しかし、最近では国の方針で、太陽熱利用を推進するため補助金を設け復活の兆しがあります。

なんとといっても、設備コストとランニングコストを比較したとき、10年くらいで元が取れるし、メンテナンスもそれほど必要としません。

家庭で使うエネルギーの4分の1強はお湯を沸かすことに使います。

太陽熱を利用することでかなりの省エネが期待できるのです。

**薪ストーブ**はもう みなさんご存じのとおり。

私たちで携わったお住まいでは、毎年半分くらいの方が利用されています。

一番の問題は、設置コストと薪の確保。

薪の確保は、ずいぶん利用しやすくなってきましたが、設置コストは床暖房よりは安く、エアコンの3～4倍ほどになります。でも薪ストーブを設置した方で後悔されているご家庭は有りません。 今度 暖房器具を考えるときには是非、ご検討くださいね。

原発に頼らない社会へ 田中優さん

数年前に2～3度 住まいづくりのことで、お出会いした田中優さん。

それから色々メールをいただいております。

今度、緊急に本を出すとのこと。それが、表題の「原発に頼らない社会へ」

坂本龍一さんやミスチルの桜井さん、音楽プロデューサーの小林さんなどなど、著名な方と一緒に昔から反原発を訴えておられました。

以前から心配していたことが起こり、そしてこれからのことを精力的に情報発信されています。刻々とメールでくるお話。

内容は講演会やユーストなどで情報を発信されています。

ネットでは「エコレゾウェブ」で検索してもらえば、対談なども読むことができます。

お時間があれば、ご覧くださいね。

以前に出版された帯についている推薦の言葉を一つご紹介すると...

【もう、拳げ足を取っている場合ではない 一青 窈】でした。



## 環境共生住宅工房・(株)ベストハウス

滋賀県栗東市小野 1007-3

フリーダイヤル 0120-6955-81

TEL077-552-6955 FAX 077-552-6775

ホームページ <http://besthouse.cc> E-mail [6955@besthouse.cc](mailto:6955@besthouse.cc)